



本事業は、SDGsの「12 つくる責任つかう責任」に資する取組です。

2023年6月23日(金)
愛知県環境局資源循環推進課
一般廃棄物グループ
担当 桑山、野山
内線 3076、3087
ダイヤルイン 052-954-6234

愛知県の「食品ロス削減環境学習プログラム」が全国の「消費者教育教材資料表彰2023」において消費者庁長官賞を受賞しました

愛知県では、食品ロス削減のため、動画やゲームを通して食品ロスを学ぶ「食品ロス削減環境学習プログラム」を2019年度に作成し、学校や市町村の環境学習施設等での活用を促進することで、県民の食品ロス削減意識の醸成を図っています。

この度、この教材が「消費者教育教材資料表彰2023」（主催：公益財団法人消費者教育支援センター）において、消費者庁長官賞*を受賞しました。

愛知県食品ロス削減 Web サイトから動画の視聴やクイズすごろく等のダウンロードができるほか、クイズすごろく等の貸し出しも行っていますので、小学校の授業や学習施設の講座、市町村のイベント等で、是非御活用ください。

※ 前年度の「消費者教育教材資料表彰2022」優秀賞25点の中から、実際に教育現場で活用された評価を基に決定された。本教材は、「ボードゲーム形式で、子供の実生活に沿った内容で体験的に食品ロスを学ぶことができる」などの評価を得た。

1 「消費者教育教材資料表彰2023」について

(1) 目的

学校における消費者教育の充実・発展に寄与することを目的に、全国の企業・業界団体、行政、消費者団体等から教材を募集し、教育現場で役立つ優秀な教材に対し表彰を行うものです。

(2) 主催者等

主催：公益財団法人消費者教育支援センター（東京都渋谷区）

後援：消費者庁、文部科学省、一般社団法人日本経済団体連合会、

公益社団法人消費者関連専門家会議

協賛：一般財団法人パロマ環境技術開発財団

(3) 賞の種類

ア 内閣府特命担当大臣賞（1点）

イ 消費者庁長官賞（2点）

ウ 消費者教育支援センター理事長賞（1点）

エ 優秀賞（20点）

前年度に優秀賞を受賞した教材から実際に教育現場で活用された評価を基に選考・決定されるもの

(4) 表彰式

日 時：2023年6月30日（金） 午前10時30分から正午まで

表彰式は「消費者教育シンポジウム 2023」（主催：公益財団法人消費者教育支援センター）の中で行われます。

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

出席者：県環境局資源循環推進課長

(5) その他

「消費者教育教材資料表彰 2023」の詳細は公益財団法人消費者教育支援センターの Web ページを御覧ください。

<https://www.consumer-education.jp/activity/contest.html>

2 消費者庁長官賞受賞作品「食品ロス削減環境学習プログラム」について

(1) 概要

動画やゲームを通して、食品ロスの問題について学び、普段の生活でできることを考え、実践につなげるプログラムとして2019年度に作成しました。学校や市町村の環境学習施設等での活用を促進することで、食品ロス削減意識の醸成を図っています。

(2) 特徴

- 小学校（対象：中・高学年程度）の授業で活用しやすいよう、導入（動画）、体験（クイズすごろく）、振り返り（解説動画、ワークシート）から構成されています。
- 小学校の授業時間に合わせて、所要時間を45分程度にしています。
- 指導者がプログラムを進めやすいよう、プログラムの流れ、指導のポイント、補足資料等が記載された指導者用マニュアルを作成しています。

(3) プログラムの内容

① 導入（動画）

始めに約3分の動画（ミニストーリー）を視聴します。

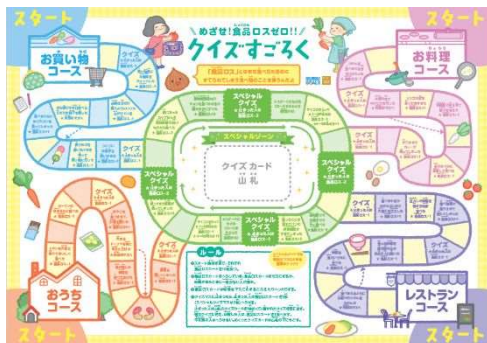
日常で起こりうる食品ロスの発生の場面を、子供目線で描写するミニストーリー仕立てとなっており、子供が食品ロスの問題を自分の問題として考えられるような内容となっています。



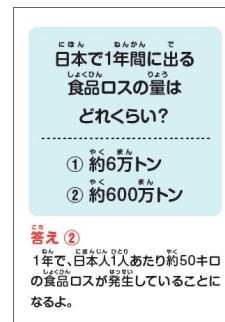
動画（ミニストーリー）

② 体験（クイズすごろく）

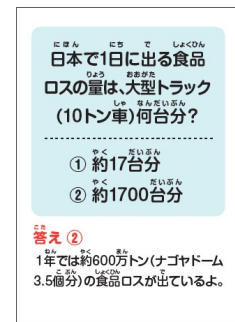
サイコロを振って、コマを移動させ、出題されるクイズや盤面のマスの記載内容により、手持ちの食品ロスカードを増減させるゲームです。食品ロスの発生原因や削減方法について、楽しみながら学ぶことができます。



クイズすごろく盤



NO.1



NO.2

クイズカード

③ 振り返り（動画、ワークシート）

クイズすごろくで体験しながら学んだ食品ロスの発生原因や削減の方法について、約10分の動画（解説編）により復習した後、食品ロス削減のために取り組むべきことを、子供たちが考え、振り返りシートに記載します。

動画（解説編）では、食品ロスの発生量や発生原因について、情報やデータを視覚的に分かりやすく説明しています。



動画（解説編）

(4) プログラムの利用方法

愛知県食品ロス削減 Web サイトでは、動画の視聴やボードゲーム等のダウンロードができます。

<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/foodloss/learning-program.html>

また、動画が収録されたDVD、ボードゲーム等の貸し出しを行いますので、希望される場合は、以下までお問い合わせください。

県環境局資源循環推進課一般廃棄物グループ

電話番号：052-954-6234 メール：junkan@pref.aichi.lg.jp

食品ロス削減 環境学習プログラム

学ぼう！へらそう！ 「食品ロス」

～大切な食べ物を、
おいしく食べきるために～

愛知県では、動画やゲームを通して
食品ロス問題について学び、普段の生活でできることを考え、
実践につなげるプログラムを作成しました。
小学校の授業や学習施設の講座、市町村や
NPOのイベント等で、ぜひご活用ください。

はじめまして！
のん子ちゃん
だよ♪

活用できる授業（新学習指導要領に基づく）

- 小学4年生／社会科：廃棄物の処理 ● 小学5、6年生／家庭科：調理の基礎、消費生活・環境
- 総合学習：廃棄物・リサイクル、食育、消費者教育

[1. 導入]

身近で起こる 「食品ロス」に気づく

子どもを主人公に、食品ロスが発生する場面を、イラストを用いたシンプルなアニメーションで描きました。



● 動画
ミニストーリー「もったいない…？」

[2. 体験]

ゲームを通して 食品ロス削減を体験する

ゲームを通して、楽しみながら食品ロス問題について学びます。



● めざせ！食品ロスゼロ！！クイズすごろく

[3. ふりかえり]

解説動画で理解を深め、 行動につなげる

解説動画で学んだことを振り返り、より理解を深めます。また、ワークシートで自分たちにできることを考えます。



● 動画
「のん子ちゃんと学ぶ「食品ロス」のおはなし～解説編～」

📖 manual 📖 **指導者用マニュアルで指導者の負担を軽減！**

プログラムの流れ、教材説明、指導シナリオ等を記載したマニュアルを作成しました。

プログラム教材は、WEBサイトからダウンロードいただけます。また、貸し出しも承ります。

● 愛知県食品ロス削減WEBサイト <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/foodloss/>

● お問い合わせ先 愛知県環境局資源循環推進課一般廃棄物グループ TEL:052-954-6234/FAX:052-953-7776/E-mail:junkan@pref.aichi.lg.jp

Making efforts to reduce food loss

食品ロスゼロのあいちに向けて

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

食品ロスの削減は、持続可能な社会の形成のため、世界的に取り組むべき課題となっています。

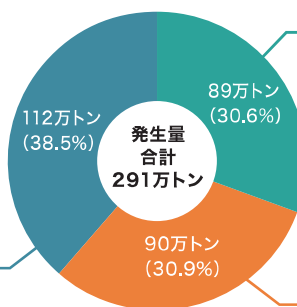
1 食品ロスはどこから出る？発生量はどのくらい？

食品ロスは、家庭やレストラン・スーパーなど食に関連する様々な場所で発生しています。発生量は、日本で1年間に約600万トンと推計されています。このうち、家庭から排出される食品ロスは半分の約300万トンです。家庭から排出される食品ロスは大きく3つに分類されます。

家庭系食品ロスの内訳 (2016年度/国内)

● 食べ残し

食卓に出されたが、食べきれずに廃棄されたもの



● 直接廃棄

消費期限切れなど、手つかずのまま廃棄されたもの



● 過剰除去

野菜の皮の厚剥きなど、食べられる部分まで廃棄されたもの



2 どんな問題と関係がある？

食糧問題

世界には、飢えに苦しむ人々が約8億人もいます。一方で、世界で捨てられる食品は約13億トンもあります。これは生産される食糧の約3分の1に当たります。



環境問題

食糧の生産、ごみとなった食品の処理に多くの燃料を使うことで地球温暖化を進めることにつながります。



3 どうしたら減らせる？

お家やお店で、食品を無駄にしないよう、一人ひとりが意識して行動することが必要です。具体的な取組については、「環境学習プログラム」や下記のWebページをご覧ください。



あいち食品ロス削減パートナー募集中!

愛知県では、食品ロス削減と一緒に取り組んでいただける企業・団体等を「あいち食品ロス削減パートナー」として登録します!

本来食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)の削減に取り組む企業・団体等を、あいち食品ロス削減パートナーとして登録することにより、企業・団体等における食品ロス削減の取組を促進するとともに、その取組を広く周知することで、県民の食品ロス削減に向けた意識の啓発・高揚を図ります。

みんなで
食品ロス削減!



対象
事業者

愛知県内に事業所を有し、当該事業所において食品ロス削減に向けた取組を実施している企業・団体等

募集
期間

常時募集

事業者のメリット



食品ロス削減に積極的に取り組む事業者としてPRでき、イメージ向上につながります。



愛知県が登録事業者の情報と取組をWebページ等で紹介するため、知名度向上につながります。



ロゴマークを自社の食品ロス削減の取組に活用できます(フードドライブのちらし、企業パンフレット等)。

登録の流れ

申請書の提出

申請に必要な書類は、愛知県食品ロス削減Webサイトでダウンロードすることができます。

受付、確認

提出された申請書について、愛知県で登録要件を満たしているかを確認します。

登録完了

登録完了後、登録証を発行します。あいち食品ロス削減パートナーシップ制度のロゴマークを自社の食品ロス削減の取組に活用できます。



あいち食品ロス削減パートナーシップ制度

登録要件

次の(1)～(3)をいずれも実施する企業・団体等をパートナーとして登録します。

(1)食品ロスの削減について、下記の「取組項目」に該当する取組実績を有し、その取組実績を自社のWebページや会社案内等に掲載していること。

取組項目	取組例
規格外品の活用	○安価での販売 ○加工品等への活用 等
食べきり・完売の促進	○食べ残しをしなかった場合の割引や特典の付与 ○容器の提供など持ち帰り希望への対応(※) ○ばら売り、量り売り、少量パックによる販売 等
啓発	○ポスターの掲示や「3010 運動」等の呼びかけ ○賞味期限・消費期限表示に関する啓発 ○食材使い切りレシピや残り物アレンジレシピの紹介 等
未利用食品等の提供	○フードドライブの実施 ○フードバンク活動 ○災害用備蓄食品の有効活用 等
その他	○需要予測の高度化 ○製造方法や容器包装の工夫等による賞味期限の延長 ○納品期限の緩和や賞味期限表示の大括り化等の商習慣の見直し ○食材の仕入れ又は使い切りの工夫 ○食品廃棄物のリサイクル(堆肥化など) ○その他食品ロスの削減につながる取組

※食品衛生法その他関係法令によって定められた衛生管理を遵守するとともに、持ち帰り希望者には食中毒等のリスクや取扱方法など衛生上の注意事項を十分に説明し、食中毒等が発生した場合は持ち帰り希望者の自己責任となる旨を伝えること。

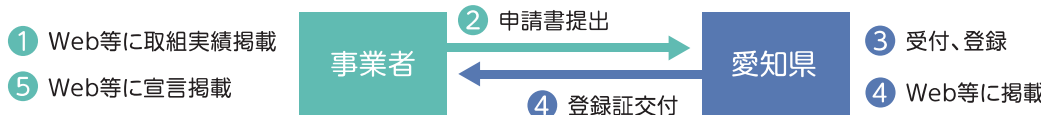
- (2)「食品ロス削減推進宣言」を作成し、事業所内に掲示又は自社のWebページ等に掲載すること。
(3)食品ロスの削減について、具体的な取組を設定し、継続して食品ロスの削減に努めること。

パートナーの責務

- (1)食品ロス削減の取組を積極的に実施し、食品ロスの削減に努める。
(2)年度毎の取組実績を年度末までに自社のWebページに掲載する。
なお、掲載する取組実績は、実施期間、取組の名称、内容等とし、可能な限り定量的な指標を盛り込む。
(3)県が実施する取組状況の調査やイベントなどに協力する。

申込及び登録

実施要領を参照の上、あいち食品ロス削減パートナーシップ申請書(様式第1号)及び食品ロス削減推進宣言(様式第2号)に御記入いただき、郵送、メール又は持参のいずれかの方法で申込先へ御提出ください。
愛知県が要件を満たすことを確認の上、あいち食品ロス削減パートナーとして登録するとともに、登録証を交付し、県のWebサイト等に掲載します。



登録期間

登録日から令和9年(2027年)3月まで
ただし、別に定める書類を提出することにより登録を更新することができます。

ロゴマーク

パートナーとして登録されると、ロゴマークを使用することができます。
(使用に当たっては、使用開始日の10日前までにロゴマーク使用届出書を県に提出してください。)
ロゴマークの使用について、詳しくは愛知県食品ロス削減Webサイトを御確認ください。



あいち食品ロス削減
パートナー

※申請に必要な書類は愛知県食品ロス削減Webサイトにて確認・ダウンロードすることが可能です。

あいち食品ロス削減パートナー

<https://kankyo.joho.pref.aichi.jp/foodloss/>

検索



申込先

愛知県環境局資源循環推進課一般廃棄物グループ
〒460-8501(住所記載不要)
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 愛知県庁西庁舎6階
電話:052-954-6234(ダイヤルイン)
E-mail:junkan@pref.aichi.lg.jp

